



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助により実施しています。
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

< オリンピック・ムーブメント事業 >

JOCオリンピック教室

実施報告書

長野県 長野市立大岡中学校



公益財団法人 日本オリンピック委員会

「オリンピック教室」の実施にあたって

平成21年4月の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会等は、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和6年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 目的： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、
オリンピック自身の様々な経験を通して
「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、
この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、
日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう。
- 事業名： JOCオリンピック教室
- 主催： 公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)
- 後援： スポーツ庁
- 協力： 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対象： 中学校2年生
- 講師： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）※派遣オリンピックはJOCが選定
- 期間： 2024年4月～2025年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数： 80校程度
- 実施方法： クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1コマ目 運動の時間 / 50分

身体を動かしながら生徒との距離を縮め、
チームワーク、フェアプレー、身体を動かす
ことの楽しさ等を感じてもらいます。



2コマ目 座学の時間 / 50分

競技者人生を振り返り、自身が感じた
オリンピックの価値を生徒に伝え、
オリンピックをより身近に感じてもらいます。



1コマ目

運動の時間 / 50分

オリンピックの専門競技の技術指導(=スポーツ教室)ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶(5分)

準備体操(10分)

主運動(30分)

まとめ(5分)



自己紹介
学習内容の確認



準備体操



主運動
(作戦タイム等を設け、
生徒が考える機会を作る)



運動の時間のまとめ

2コマ目

座学の時間 / 50分

国際オリンピック委員会(IOC)が推進する「オリンピックの価値」等を、オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後活かせるような学習内容

挨拶・自己紹介(10分)

オリンピックの価値を伝える(10分)

グループワーク(20分)

まとめ(10分)



学習内容の確認



写真・映像等を使用した自己紹介



オリンピック自身の経験に基づく「オリンピックの価値」等を伝える



個人またはグループワークで話し合った内容を発表



全体のまとめ
記念撮影(クラス写真)

※時間は目安です。
※内容はオリンピックによって変動する場合があります。

●時間割について

- ・1クラスにつき、運動の時間+座学の時間の順に、2時間連続で実施します。
- ・1コマ目の運動の時間は体育館で、2コマ目の座学の時間は当該クラスの教室で行います。
- ・原則1クラスの場合は3-4時限目、2クラスの場合は3-6時限目、3クラスの場合は1-6時限目の調整となります。
- ・1日に実施できるクラス数は最大3クラスまでです。4クラス以上実施する場合は2日間以上の調整となります。
- ・同じ時間に複数クラスを実施することはできません。

- **オリンピック**：長谷川 大悟 先生（陸上競技 三段跳）
【出場オリンピック／リオデジャネイロ2016大会】
- **期 日**：2024年9月10日(火)
- **ク ラ ス**：全学年合同／運動の時間

○自己紹介 ～ 授業の目的確認 ～ 準備体操



・陸上競技／三段跳でリオデジャネイロ2016大会に出場し、現在も現役選手として競技を続けていると自己紹介。オリンピックバリューの3つの価値を説明し、言葉だけでは難しいかもしれないので、運動の時間を通して体を動かしながら学んでほしい。準備運動では、体の部位に番号を振り、指示された番号に合わせて素早く体を触る運動と、数種類のストレッチを実施。

○主運動 等



・主運動は混成リレーを実施(全3回)。走順によって走法を変え、1走：走る、2走：歩く、3走：スキップ、4走：歩くとし、班対抗で順位とタイムを競う。オリンピックバリューを説明した通り、全力を尽くすことやお互いを尊重し合うこと、コミュニケーションを取り合うことを意識してほしい。走る順番を決めた後、1回目を実施。結果発表の後、作戦タイムを設け、走順の変更等を行いながら2回目、3回目を実施。



・運動の時間を振り返り、どの班もタイムを短縮することができた。どのような作戦を立てたのか尋ねると、たすきを渡す時に相手が取りやすいように工夫した、あえて走順を変えなかった等の意見があった。皆が全力を尽くして運動の時間に取り組み、コミュニケーションを取りながらできていた。オリンピックバリューは日常生活にも含まれていることが感じられたと思う。そのことを、座学の時間でも更に掘り下げて一緒に考えていきたいと伝え、授業終了。

- **オリンピック**：長谷川 大悟 先生（陸上競技 三段跳）
【出場オリンピック／リオデジャネイロ2016大会】
- **期 日**：2024年9月10日(火)
- **ク ラ ス**：全学年合同／座学の時間

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



・改めてオリンピックバリューについて話し合っていきたい。小学生の頃は運動が苦手だったが、中学生で陸上部に入り、高校2年生で三段跳に出会った。当時は三段跳を知らず、戸惑いの気持ちもあったが、勧めてくれた先生の意見もあり、勇気を出して挑戦すると、面白いと感じた。少しずつ記録が伸びるようになり、高校3年生でインターハイに出場することができた。大学以降、オリンピック出場を目標にして三段跳を続けた結果、リオデジャネイロ2016大会に出場することができた。

○個人ワーク～グループワーク等



発問：日常生活の中にあるオリンピックバリューを見つけて書き出してみよう。
 発表：エクセレンス：「朝の歌練習の時に皆で切磋琢磨した」「色々な方に感謝したり全力で取り組む」等
 フレンドシップ：「皆で息を合わせて音程を合わせる」「歩み寄ることができる」「失敗を恐れずに失敗を責めない」等
 リスペクト：「皆の意見を出し合って尊重して否定しない」「集団生活で人の話を聞く」「道具や物を大切に扱う」等



・座学の時間を振り返り、皆の日常生活の中にもオリンピックバリューに当てはまるものが沢山あると気付けたと思う。全力で頑張ることや、周囲の人にリスペクトの気持ちを伝える等、ちょっとした意識を持って行動することが自分の成長に繋がっていく。この授業も多くの人の準備によって成り立っている。今日考えたことや気付いたことを忘れずに、皆がやりたいことや頑張りたいことを見つけて挑戦し続けてほしいと伝え、授業終了。

■集合写真



■記念品贈呈



■修了証贈呈

